



～軽井沢スキーバス事故から9年、「安全」を考える～  
**「人を大切にしない企業は  
人に起因する事故を必ず発生させている。」**



長野県軽井沢町で大学生ら15人が死亡、20人が重軽傷を負った軽井沢スキーバス転落事故から今日で9年が経過しました。バス事業者である私たちの記憶にも、この事故は強く記憶に刻まれています。

今一度、現在のバス業界と、とりわけJRバス関東の現実はどうでしょうか？

**訓練や研修の形骸化はされていませんか？**

**机上の空論ではなく、実際に“現場”で“現物”を観察し、“現実”を認識した上で  
問題解決を図る「三現主義」は企業風土として確立されていますか？**

あの事故から9年。職場の安全議論と対策は進化していますか？

利益至上主義と表向きの安全対策に振り回されるのは組合員と家族です。

**～今一度、人を大切にした企業を  
労働組合として求めていこう！～**